

氏名	高 木 章乃夫		
授与した学位	博	士	
専攻分野の名称	医	学	
学位授与番号	博 甲 第 1289 号		
学位授与の日付	平成 6 年 3 月 31 日		
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学（一）専攻 （学位規則第 4 条第 1 項該当）		
学位論文題目	Specificities and clinical significance on anti-cytoskeleton antibodies in anti-smooth muscle antibody positive patients with chronic liver disease C (抗平滑筋抗体陽性C型慢性肝疾患患者において出現する抗細胞骨格抗体の特異性とその臨床的意義)		
論文審査委員	教授 太田 善介	教授 中山 睿一	教授 原田 実根

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

C型慢性肝疾患における自己免疫現象の指標の一つとして、抗細胞骨格抗体の出現及び抗原特異性について検討した。抗平滑筋抗体陽性のC型慢性肝疾患13例（慢性肝炎9例，肝硬変4例），自己免疫性肝炎7例（慢性肝炎7例），B型慢性肝疾患6例（慢性肝炎2例，肝硬変4例）を対象とし，培養細胞を基質とした間接蛍光抗体法にて抗細胞骨格抗体の検出を行った。抗細胞骨格抗体はその染色パターンより抗マイクロフィラメント抗体，抗中間径フィラメント抗体，抗マイクロチュブルス抗体の三種類に分類した。抗マイクロフィラメント抗体は抗平滑筋抗体陽性の自己免疫性肝炎7例中6例（85.7%）に陽性であったが，B型慢性肝疾患では6例中1例（16.7%）のみ陽性であった。一方抗平滑筋抗体陽性のC型慢性肝疾患では抗マイクロフィラメント抗体は13例中8例（61.5%）で陽性であり，しかもそのうち7例（87.5%）でIgG型抗マイクロフィラメント抗体が認められた。抗中間径フィラメント抗体については各疾患群で出現率に明かな差を認めなかった。抗マイクロチュブルス抗体は自己免疫性肝炎患者6例中3例に認められたのみであった。抗マイクロフィラメント抗体陽性C型慢性肝疾患患者の血清ガンマグロブリン値とIgG値は抗マイクロフィラメント抗体陰性C型慢性肝疾患患者，B型慢性肝疾患患者と比べて高値であり，またその中には自己免疫性肝炎の診断基準を満たす症例が4例存在した。以上より

抗マイクロフィラメント抗体の出現はC型慢性肝疾患の自己免疫現象の一つの指標となり得ることが示された。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論文審査の結果の要旨

本研究はC型慢性肝疾患における自己免疫現象の指標の1つとしての抗細胞骨格抗体の出現及び抗原特異性について検討したもので、C型慢性肝疾患13例、自己免疫性肝炎7例、B型慢性肝疾患6例を対象とした。その結果、抗細胞骨格抗体の1つである抗マイクロフィラメント抗体の出現はC型慢性肝疾患の自己免疫現象の1つの指標となり得ることが示された。これは価値ある業績であり、よって本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。